

令和2年度事務事業外部評価を受けての取組状況

NO	事業名称と目的・概要	外部評価人からの主な意見等	外部評価を受けての方針(今後の方向性)	取組状況
1	<p>ふるさと納税 (財政部 財政課)</p> <p>【目的】 川越市が取り組む事業を応援したいという市民や市外の方の気持ちを寄附を通じて実現するとともに、事業の実施に必要な財源の確保を図ろうとするもの。また、寄附者に返礼品を送付し、本市の特産品の紹介やイベント情報の発信をすることで、地域産業の振興や来訪のきっかけづくりにつなげていく。</p> <p>【概要】 寄附を募集する事業の紹介、寄附者情報の管理、返礼品の配送手配、書類の受理及び発送を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税額の増加と、税の流出の抑制により、流出超過状況の改善が求められる。ふるさと納税額の増加には産業観光等の他部署と連携して返礼品を発掘すること、流出抑制には市民への広報が必要で、これらを一つのパッケージとして推進してほしい。 ・返礼品の発注や事務的な部分は、時期が集中することや、効率性の点から外部に委託してよいと思う。 	<p>【改善】</p> <p>ふるさと納税の返礼品については、本市の特産品や取組などをPRするため、内容の充実に努めていきます。あわせて、本市の市税減収分の状況など、本市のふるさと納税に係る現状については、市民へ周知をしていきます。 また、事務の効率化を図るため、業務の一部について、民間委託化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品をリニューアルし、約30種類から約250品目に拡充しました。(令和3年4月現在) ・また、市税の減収分の状況などについて、市HPで公表しました。 ・令和2年12月から返礼品の発注などの業務について外部委託を実施しました。
2	<p>在宅要介護高齢者等紙おむつ給付 (福祉部 高齢者いきがい課)</p> <p>【目的】 在宅の要介護高齢者に対し、紙おむつを給付することにより、本人及び家族の経済的負担を軽減し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>【概要】 1人につき1月当たり5,000円の範囲内の紙おむつを現物で給付する。在宅扱いとなるグループホーム、有料老人ホームへは施設が受取り可能な場合のみ配送する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ10年後も続くよう、真に必要な人に届けられる制度としてほしい。 ・利用者の増加に歯止めをかけることは難しく、所得制限をかけない場合、給付額を引き下げ続けざるを得なくなる。一定の予算の制限があるなかで、なるべく多くの人に行きわたることが重要なのか、より苦しい人のために給付することが重要なのか、何を優先させるのか検討してほしい。 	<p>【改善】</p> <p>事業費が年々増加している状況にあるため、給付限度額の見直しや所得制限の設定、要介護認定の区分に応じた給付など、持続可能で、より配慮が求められる方に必要なサービスが提供できる制度設計について、検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に見直しの方向性を結論付けましたが、令和3年度、さらに財政状況が厳しくなったことを踏まえ、より財政効果の高い見直しが可能か、他市の状況等も参考にしながら、今年度、見直しを行います。